保護者等向け

児童発達支援評価表

アシスト

記入年月日:令和 2年 3月10日

配布 6 回収 5 回収率 83.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見
	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保され ているか	5					
環	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5					
境 •		生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの						
体制整備	3	特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			1		
VHI	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	5					
		子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	5					
適切な支援	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
の提	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われてい るか	5					
供	8	活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫 されているか	5					
		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会があ るか		1		4		・まだ入って間もないため。
		運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
保護者へ	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援 の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支援 計画」を示しながら支援内容の説明がなされ たか	4	1				
の説明	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※iv等)が行われているか	2		2	1		
等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの健康や発達の状況、課題について共 通理解ができているか	4	1				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関 する助言等の支援が行われているか	2	1		2		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催 等により保護者同士の連携が支援されている か	2			3		・まだ入って間もないため。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3			2	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされているか	3			2	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関す る自己評価の結果を子どもや保護者に対して 発信されているか	2	1		2	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2		1	2	
非常時等の	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、保護者に周 知・説明されているか。また、発生を想定し た訓練が実施されているか。	2		1	2	
対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	3			2	
満足	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3			2	
度	23	事業所の支援に満足しているか	3			2	

※i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に 応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業者向け

児童発達

アシスト

記入年月日:令和 2年 3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
環境	2	職員の配置数は適切であるか	6			・リスク対策も兼ねて、定員の数に対して多めに配置。
・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	6			
		業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			・打ち合わせで問題点から解決へ向けて、どのようにしたらよ
業	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対し て事業所の評価を実施するとともに、保護者 等の意向等を把握し、業務改善につなげてい るか	6			
務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行 うとともに、その結果による支援の質の評価 及び改善の内容を、事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	6			
	1 8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか	2	2	2	・第三者の外部評価は現在実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	6			・社内では、年度の最後に全員で発表の場を設け、全研修の情
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、児 童発達支援計画を作成しているか	6			
		子どもの適応行動の状況を把握するために、 標準化されたアセスメントツールを使用して いるか	6			
適	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			・ガイドラインを読んだ事がない。機会を設け、目を通したい
切 な	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われてい るか	6			
支援	14	活動プログラムの立案をチームで行っている か	6			・日毎に、打ち合せと振り返りは必ず行っている。

の	4.5	活動プログラムが固定化しないよう工夫して					
提	15	いるか	6				
供		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動					
	16	を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成	6				
		しているか					
		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ					
	17	の日行われる支援の内容や役割分担について	6			・活動中の配置やその他自由時間等の立ち位置等も確認してに 	
		確認しているか					
	10	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、	5	1		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
	10	その日行われた支援の振り返りを行い、気付い た点等を共有しているか	5	1		一打日とと同時に、旅り返りを打りている。	
		日々の支援に関して記録をとることを徹底					
	19	し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		・細かな記録を取ることができていない。	
		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援					
	20	計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		・見直しの判断は管理者の方がしている。 	
		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議					
	21	にその子どもの状況に精通した最もふさわし	5		1	・基本、管理者が中心で参加し、事前に対象時の情報等は現場	
		い者が参画しているか					
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や	5	1		・あまり聞いた事がない。	
		関係機関と連携した支援を行っているか	J	1		のよう問いた事がない。	
		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障が					
	23	いのある子ども等を支援している場合)	2	2	2		
		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等					
		の関係機関と連携した支援を行っているか					
		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障が					
関	24	いのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制	1	3	2		
係		すこもの主点医や協力医療機関寺と理解体制 を整えているか					
機		移行支援として、保育所や認定こども園、幼					
関		稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、					
や	25	支援内容等の情報共有と相互理解を図ってい	5	1		・保護者から情報をもらっている。	
保		るか					
護		移行支援として、小学校や特別支援学校(小					
者	26	学部)との間で、支援内容等の情報共有と相	3	2	1	・支援内容までは共有できていないと感じる。	
ک		互理解を図っているか					
の		他の児童発達支援センターや児童発達支援事					
連	27	業所、発達障害者支援センター等の専門機関	2	2	1		
携		と連携し、助言や研修を受けているか					
	20	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流	2	4			
	28	や、障がいのない子どもと活動する機会があ	2	4			
		るか (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ど					
	29	も・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	4			
		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、					
	30	子どもの発達の状況や課題について共通理解	6			・一部部分的にできていないところもあると感じる。	
		を持っているか					
		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護					
	31	者に対して家族支援プログラム(ペアレント・	1	4	1		
		トレーニング等)の支援を行っているか					
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明	6			 ・わかる範囲では伝えるように心がけている。	
		を行っているか	- J				
		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の担保すべき主ザーのわらい及び主ザ内容					
		の提供すべき支援 のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支援					
	33	こ、これに基づる下放された「児童先達又抜 計画 を示しながら支援内容の説明を行い、	5		1	・保護者からの要望があった際には、計画の見直しを図り、す	
		保護者から児童発達支援計画の同意を得てい					
		るか の					
·		I =				1	

I / [1		1	
保		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対				
護	34	する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を	5	1		 ・定期的と言うことはないが、相談があれば、話を聞いたり相
者		行っているか				
^		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を				
の	35	開催する等により、保護者同士の連携を支援	6			・茶話会に実際に出たことはないが、事務所としては行ってい
説		しているか				
明		子どもや保護者からの相談や申入れについ				
責	36	て、対応の体制を整備するとともに、子ども	G			
任	30	や保護者に周知し、相談や申入れがあった場	6			
等		合に迅速かつ適切に対応しているか				
,,		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予				
	37	定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対	5	1		・年度が替わった4月や、法人の体制が変わった時(人事等)
		して発信しているか				
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■				
	39	や情報伝達のための配慮をしているか	6			
		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に				
	40	開かれた事業運営を図っているか	6			・地域と連携し、年1回お祭りを行っている。
		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感				
		 染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護	6			
	41	者に周知するとともに、発生を想定した訓練				
		を実施しているか				
		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出				
非	42	その他必要な訓練を行っているか	6			
7.		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の				
常品	43	こどもの状況を確認しているか	6			
時		食物アレルギーのある子どもについて、医師				
等	44	の指示書に基づく対応がされているか	5	1		
の		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共				
対	45	有しているか	4	2		・口頭で伝えることは、できている。
応		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保				
	46	 する等、適切な対応をしているか	6			
		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う				
	,_	 かについて、組織的に決定し、子どもや保護				
	47	 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児	5		1	
		童発達支援計画に記載しているか				
					l	

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員 の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、 「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

アシスト

記入年月日:令和 2年 3月10日

		配布	15	回収	14	回収率	93.3%
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見
環	子どもの活動等のスペースが十分に確保され						・子ども達やスタッフの方がいる時間帯を貝

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見
環	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保され	13			1		・子ども達やスタッフの方がいる時間帯を見
境	1	ているか	13			1		たことがない為、分かりません。
体	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1				
制		事業所の設備等は、スロープや手すりの設置						
整	3	などバリアフリー化の配慮が適切になされて	13			1		
備		いるか						
適		子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分						
切	4	析された上で、放課後等デイサービス計画※	14					
な支		iが作成されているか						
援	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫	13	1				
の	J	されているか	15	1				
提	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障が	2	1	1	8	2	
供		いのない子どもと活動する機会があるか	_					
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説	14					
		明がなされたか						
		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、						
	8	子どもの発達の状況や課題について共通理解	13	1				
		ができているか						
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等	13			1		
保		の支援が行われているか						
護	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催	0	0		4		
者	10	等により保護者同士の連携が支援されている	8	2		4		
^		か 子どもや保護者からの苦情について、対応の						
の		体制を整備するとともに、子どもや保護者に	5					
説	11	1 周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ		2		7		
明		適切に対応しているか						
等		子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の						
	12	ための配慮がなされているか	13	1				
		定期的に会報やホームページ等で、活動概要						
	10	や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関す	1	0		C	2	
	13	る自己評価の結果を子どもや保護者に対して	4	2		6	2	
		発信しているか						
	14	個人情報に十分注意しているか	11			3		
非		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感						
常時	15	染症対応マニュアルを策定し、保護者に周	9	2		3		
等		知・説明されているか						
か対	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救	13			1		
応	10	出、その他必要な訓練が行われているか	13			1		
満	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13			1		
足度	18	事業所の支援に満足しているか	13				1	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメント ※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

アシスト

記入年月日:令和 2年 3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で				
•	1	適切であるか	6			
体	2	職員の配置数は適切であるか	6			
制	2	事業所の設備等について、バリアフリー化の				・10日はフロープを休田
整	3	配慮が適切になされているか	6			・入り口はスロープを使用。
		業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目				
	4	標設定と振り返り)に、広く職員が参画して	6			
		いるか				
		保護者等向け評価表を活用する等によりアン				
業	5	ケート調査を実施して保護者等の意向等を把	6			
務		握し、業務改善につなげているか				
改	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー	6			
善		ムページ等で公開しているか				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業	1	3	2	・第3者評価は現在実施していない。
		務改善につなげているか 職員の資質の向上を行うために、研修の機会				
	8	職員の負員の向上を打力だめに、研修の機会 を確保しているか	6			
		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者				
	9	のニーズや課題を客観的に分析した上で、放	6			
	9	課後等デイサービス計画を作成しているか	U			
		子どもの適応行動の状況を把握するために、				
	10	標準化されたアセスメントツールを使用して	6			
		いるか	_			
		活動プログラムの立案をチームで行っている				2 - 2 - 2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
	11	か	5	1		・主で行う人は決めっているが、相談し内容は決めている。
	10	活動プログラムが固定化しないよう工夫して				
	12	いるか	6			
適	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ	6			
切	1	細やかに設定して支援しているか	0			
な		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動				
支	14	を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計	6			
援		画を作成しているか				
の		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ				
提	15	の日行われる支援の内容や役割分担について	6			
供		確認しているか				
	1.0	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、	_			 ・日毎で、見直しや振り返りは行っている。
	10	その日行われた支援の振り返りを行い、気付い	6			一一一一
		た点等を共有しているか 日々の支援に関して正しく記録をとることを				
	17	徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・毎月ケース会議を行い、スタッフ間で情報共有を行っている
		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ				
	18	サービス計画の見直しの必要性を判断してい	6			 ・見直しの判断は管理者の方がしている。
		るか	· ·			
	1.0	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合	0	0	1	よ / パニ / v. ナナナ ! 本部 - ナー・・・・・・
	19	わせて支援を行っているか	3	2	1	・ガイドラインをあまり意識できていない。
		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議				
	20	にその子どもの状況に精通した最もふさわし	5		1	
		い者が参画しているか				
		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の				
	21	交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調	6			 ・学校行事(作品展など)に誘っていただき、参加した。
		整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)	J			
		を適切に行っているか				

		医療的とスギン亜もフじょナ巫は1ね2個人				
		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合		_		
関	22	は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい	2	2	2	・連絡先を控えている。
		るか				
係		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定				
機	23	こども園、児童発達支援事業所等との間で情	4	2		
関		報共有と相互理解に努めているか				
や		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所				
保		から障害福祉サービス事業所等へ移行する場				
護	24	合、それまでの支援内容等の情報を提供する	4	1	1	・相談支援を通して情報を共有している。
者		等しているか				
2		児童発達支援センターや発達障害者支援セン				
	25		2	3	1	
の	25	ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受	۷	3	1	
連		けているか				
携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障が	1	5		
		いのない子どもと活動する機会があるか				
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し	2	3	1	
	1,	ているか	_		_	
		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、				
	28	子どもの発達の状況や課題について共通理解	6			
		を持っているか				
		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護				
	29	者に対してペアレント・トレーニング等の支援	1	4	1	
		を行っているか				
		運営規程、支援の内容、利用者負担等につい				
	30	て丁寧な説明を行っているか	6			・契約時に説明している。
		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に				
	21		6			 ・懇談の機会を通じて、必ず行っている。
	21	適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	0			- 一窓談の依式を通して、必り17つている。
保		<i>h</i>				
		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を	_			
護	32	開催する等により、保護者同士の連携を支援	6			
者		しているか				
^		子どもや保護者からの苦情について、対応の				
の	33	体制を整備するとともに、子どもや保護者に	6			
説	33	周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に	U			
明		対応しているか				
責		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予				
任	34	定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対	6			
等		して発信しているか				
寸	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	33		U			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通	6			
		や情報伝達のための配慮をしているか				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に	6			・定期的にサロンの実施や年1回地域とのお祭りの実施。
		開かれた事業運営を図っているか				
		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感				
	38	染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者	6			
		に周知しているか				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出	6			
非	33	その他必要な訓練を行っているか				
常	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保	C			
時	40	する等、適切な対応をしているか	6			
等		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う				
の		かについて、組織的に決定し、子どもや保護				
対	41	者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放	5		1	
応		課後等デイサービス計画に記載しているか				
///		食物アレルギーのある子どもについて、医師				
	42	の指示書に基づく対応がされているか	5	1		・指示書に基づく対応はしていないが、アセスメント等で細か
		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共				
	43		5	1		!
		有しているか				